

## ローマ 8:24～26

“御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいます。”

**ローマ人への手紙 8章 24～26節**

### Q1 異言とは？

"五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。

すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。

すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した。

**使徒の働き 2章 1～4節**

"私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。"

"馬を御するために、くつわをその口にかけて、馬のからだ全体を引き回すことができます。

また、船を見なさい。あのよう大きな物が、強い風に押されているときでも、ごく小さなかじによって、かじを取る人の思いどおりの所へ持って行かれるのです。

同様に、舌も小さな器官ですが、大きなことを言って誇るのです。ご覧なさい。あのよう小さい火があのような大きい森を燃やします。"

**ヤコブの手紙 3章 2～5節**

"舌は火であり、不義の世界です。舌は私たちの器官の一つですが、からだ全体を汚し、人生の車輪を焼き、そしてゲヘナの火によって焼かれます。"

**ヤコブの手紙 3章 6節**

"しかし、舌を制御することは、だれにもできません。それは少しもじっとしていない悪であり、死の毒に満ちています。"

**ヤコブの手紙 3章 8節**

"人はその口の結ぶ実によって腹を満たし、そのくちびるによる収穫に満たされる。

死と生は舌に支配される。どちらかを愛して、人はその実を食べる。"

**箴言 18章 20～21節**

"イエスは答えて言われた。「神を信じなさい。

まことに、あなたがたに告げます。だれでも、この山に向かって、『動いて、海に入れ』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりにになると信じるなら、そのとおりになります。

だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。"

**マルコの福音書 11章 22～24節**

“人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。”

**ローマ人への手紙 10章 10節**

“悪い実を結ぶ良い木はないし、良い実を結ぶ悪い木もありません。

木はどれでも、その実によってわかるものです。いばらからいちじくは取れず、野ばらからぶどうを集めることはできません。”

**ルカの福音書 6章 43～44節**

“良い人は、その心の良い倉から良い物を出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を出します。なぜなら人の口は、心に満ちているものを話すからです。”

**ルカの福音書 6章 45節**

“私にはことばがあふれており、一つの霊が私を圧迫している。私の腹を。

今、私の腹は抜け口の無いぶどう酒のようだ。新しいぶどう酒の皮袋のように、今にも張り裂けようとしている。

私は語って、気分を晴らしたい。くちびるを開いて答えたい。”

**ヨブ記 32章 18～20節**

“私たちは、舌をもって、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌をもって、神にかたどって造られた人をのろいます。

賛美とのろいが同じ口から出て来るのです。私の兄弟たち。このようなことは、あってはなりません。”

**ヤコブの手紙 3章 9～10節**

“泉が甘い水と苦い水を同じ穴からわき上がらせるというようなことがあるでしょうか。

私の兄弟たち。いちじくの木がオリーブの実をならせたり、ぶどうの木がいちじくの実をならせたりするようなことは、できることでしょうか。塩水が甘い水を出すこともできないことです。”

**ヤコブの手紙 3章 11～12節**

“彼らはマラに来たが、マラの水は苦くて飲むことができなかった。それで、そこはマラと呼ばれた。

民はモーセにつぶやいて、「私たちは何を飲んだらよいのですか」と言った。”

**出エジプト記 15章 23～24節**

“モーセは主に叫んだ。すると、主は彼に一本の木を示されたので、モーセはそれを水に投げ入れた。すると、水は甘くなった。その所で主は彼に、おきてと定めを授け、その所で彼を試みられた。

**出エジプト記 15章 25節**

“彼は私に言った。「この水は東の地域に流れ、アラバに下り、海に入る。海に注ぎ込むとこの水は良くなる。

この川が流れて行く所はどこでも、そこに群がるあらゆる生物は生き、非常に多くの魚がいるようになる。この水が入ると、その水が良くなるからである。この川が入る所では、すべてのものが生きる。

漁師たちはそのほとりに住みつき、エン・ゲディからエン・エグライムまで網を引く場所となる。その魚は大海の魚のように種類も数も非常に多くなる。”

#### **エゼキエル書 47章 8～10節**

“川のほとり、その両岸には、あらゆる果樹が生長し、その葉も枯れず、実も絶えることがなく、毎月、新しい実をつける。その水が聖所から流れ出ているからである。その実は食物となり、その葉は薬となる。”

#### **エゼキエル書 47章 12節**

“さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。

わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」

これは、イエスを信じる者が後になってから受ける御霊のことを言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊はまだ注がれていなかったからである。”

#### **ヨハネの福音書 7章 37～39節**

“御使いはまた、私に水晶のように光るいのちの水の川を見せた。それは神と小羊との御座から出て、都の大通りの中央を流れていた。川の両岸には、いのちの木があって、十二種の実がなり、毎月、実ができた。また、その木の葉は諸国の民をいやした。”

#### **ヨハネの黙示録 22章 1～2節**

“まことに主は、もつれた舌で、外国のことばで、この民に語られる。

主は、彼らに「ここにいこいがある。疲れた者をいこわせよ。ここに休みがある」と仰せられたのに、彼らは聞こうとはしなかった。”

#### **イザヤ書 28章 11～12節**

“すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。”

#### **マタイの福音書 11章 28節**

“しかし、愛する人々よ。あなたがたは、自分の持っている最も聖い信仰の上に自分自身を築き上げ、聖霊によって祈り、神の愛のうちに自分自身を保ち、永遠のいのちに至らせる、私たちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。”

#### **ユダの手紙 1章 20～21節**